

水稻の生育状況と今後の管理対策（第1号）

令和8年6月2日
新潟県農林水産部

- ◎ コシヒカリの生育は平年より進んでいます。今後も気温が高い予報のため、茎数の急激な増加が予想されます。
- ◎ 生育過剰の防止のため、直ちに茎数を確認し、遅れずに中干しを開始しましょう。

〔6月1日現在の県内全域の生育概況〕

【指標値（生育のめやす）に比べた生育状況】

- コシヒカリ：草丈「長い」、茎数「多い」、葉数の進み「早い」
- 新之助：草丈「並」、茎数「少ない」、葉数の進み「並」

〔気象予報と今後の生育見込み〕

- 5月28日発表の北陸地方1か月予報（5月30日から6月29日）では、平均気温は高く、降水量および日照時間はほぼ平年並みと予想されています。
- 県のコシヒカリの調査ほ（田植日の平均は5月11日）における生育状況では、今年の中干し*1開始適期は田植後日数で25日（県平均の田植日では6月4日）と予測されます。

*1 中干し（なかぼし）：田の水を落として、一時的に田を乾かすこと。

〔今後の管理対策のポイント〕

適期中干しの実施

- 今年は、高温により茎数が急激に増加することが予想されるため、田植後25日をめやすに、必ず茎数を確認し、遅れずに中干しを実施しましょう。
- 中干し開始のめやすは、コシヒカリは、茎数が目標穂数の7～8割（生育が過剰となりやすいほ場では6～7割）となった時期、新之助は、7～8割となった時期が適期です。
- 中干しの効果を高め、異常高温・乾燥時に速やかなかん水が行えるよう、溝切りを必ず実施しましょう。

その他の管理

- 中干し前に高温で田のワキ*2の発生が多い場合は、一時的に落水してガス抜きしましょう。
- 補植苗はいもち病の伝染源となるため、直ちに除去してください。
- 斑点米カメムシ類の密度を抑制するため、雑草が結実しない間隔で草刈りを行いましょう。

*2 田のワキ：稲わらなどが分解する際、ガスが発生すること。

熱中症予防

- 急激に気温が上がった場合や、湿度が高い場合は熱中症発生のリスクが高まります。
- 農作業中は、定期的に水分・塩分を補給し、帽子等で直射日光をさえぎるほか、暑さ対策用品を活用して身体を冷やすなどの熱中症予防対策を必ず行い、健康管理に十分注意しましょう。
- 気温の高い時間帯に作業しない、単独で作業しない、休憩はこまめにとるなど、十分配慮してください。

○ 今後の管理対策発信予定日 6月11日・19日、7月1日・9日・22日・28日・31日、8月20日

〔補足資料〕

1 農業普及指導センター及び作物研究センターの生育状況（6月1日現在）

コシヒカリ

指標値に比べ、草丈は「長い」、茎数は「多い」、葉数の進みは「早い」です。

項目	本年値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	29 cm	24 cm	長い	121%
茎数	168 本/m ²	110 本/m ²	多い	153%
葉数	6.3 葉	5.2 葉	早い	+1.1 葉

注) 県内全域の14生育調査ほデータの平均値（田植え5月11日、栽植密度16.9株/m²）

新 之 助

指標値に比べ、草丈は「並」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「並」です。

項目	本年値	指標値	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	24 cm	24 cm	並	100%
茎数	86 本/m ²	98 本/m ²	少ない	88%
葉数	4.8 葉	5.1 葉	並	-0.3 葉

注) 県内全域の14生育調査ほデータの平均値（田植え5月19日、栽植密度16.1株/m²）

こしいぶき （参考）

指標値に比べ、草丈は「長い」、茎数は「やや多い」、葉数の進みは「並」です。

項目	本年値	指標値	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	26 cm	23 cm	長い	119%
茎数	184 本/m ²	169 本/m ²	やや多い	109%
葉数	6.3 葉	5.9 葉	並	+0.4

注1) 化学肥料栽培。田植え5月11日、栽植密度20.5株/m²

注2) 基肥窒素成分量 3.0kg/10a

注3) 長岡市長倉町（作物研究センター）の生育調査ほデータ

2 気象感応ほの生育から見たコシヒカリの中干し適期の予測（6月1日現在）

コシヒカリの目標穂数 350 本/m²の 70~80%（茎数で 240~280 本/m²、50 株/坪植えて 1 株あたりの平均茎数 16 本程度）となる中干し適期は、6 月 1 日現在の予測値で 6 月 4 日、田植後日数は 25 日となっています。

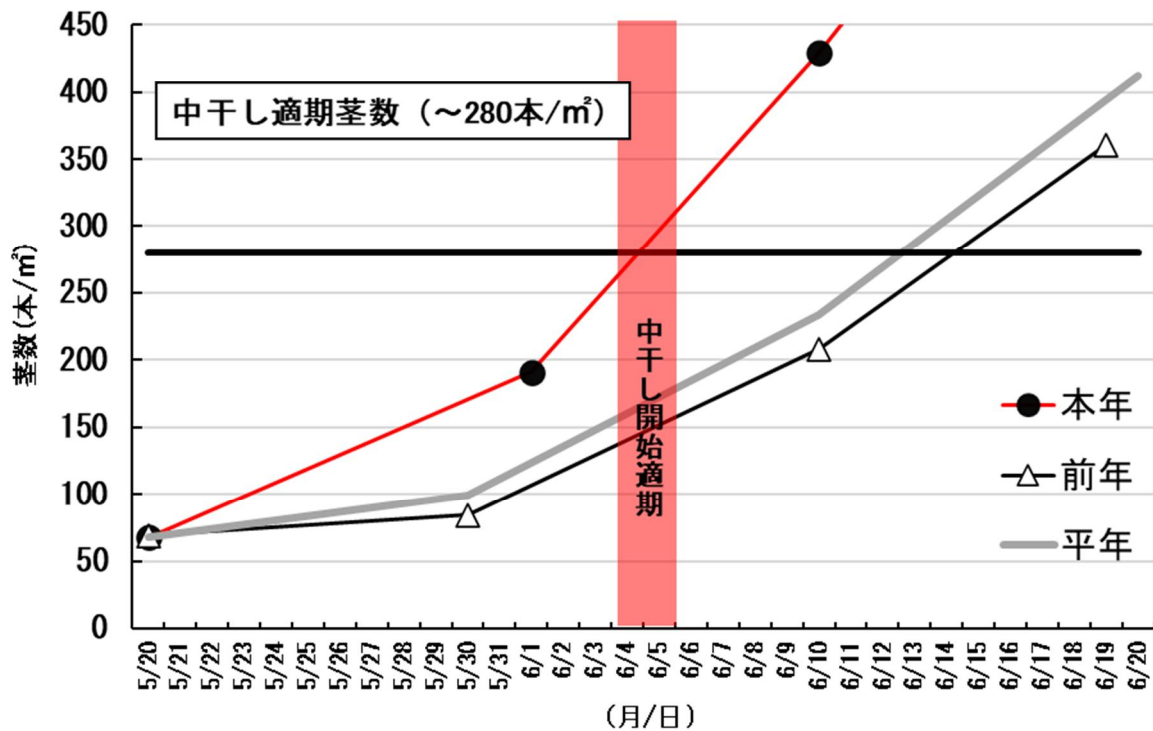
(1) コシヒカリの中干し適期の予測（全県の気象感応ほ 14 か所の平均）

項目	播種期 (月日)	田植日 (月日)	栽植密度 (株/m ²)	6/1 (本/m ²)	中干し開始適期予測	
					月日	田植後日数
本年	4 月 15 日	5 月 11 日	16.9	156	6 月 4 日	25
前年	4 月 16 日	5 月 12 日	17.2	84	6 月 14 日	33
平年	4 月 17 日	5 月 12 日	17.0	99	6 月 13 日	32

注 1) 本年は、2001~2020 年のデータから予測式を作成、本年 6 月 1 日現在の茎数と 6 月 10 日までの平均気温（気象庁の気温予測、アメダスデータの気温予測に基づく）から、中干し適期(280 本/m²となる時期)を予測

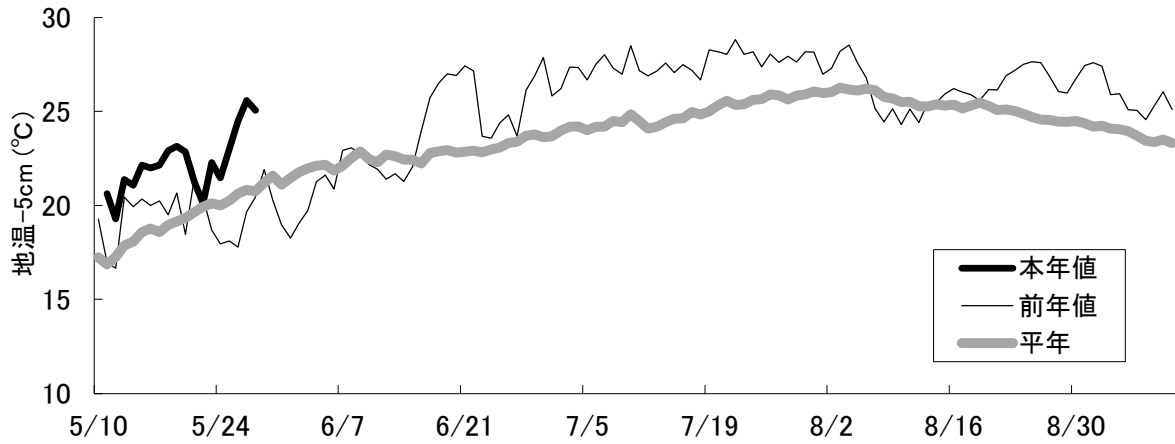
注 2) 前年及び平年（過去 10 年の平均）は、茎数の実績から予測

(2) コシヒカリの推定茎数の推移（全県の気象感応ほ 14 か所の平均）

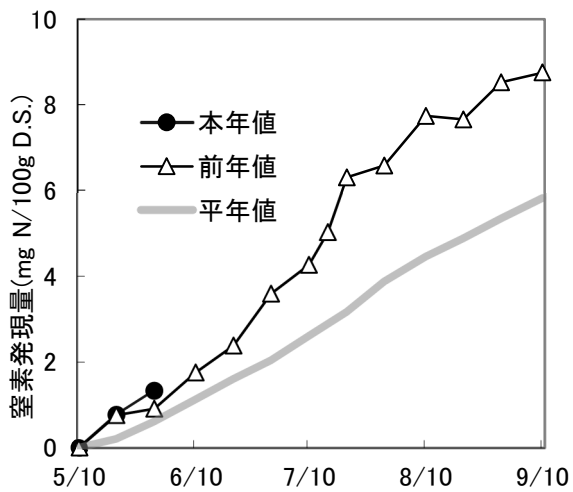


3 地力窒素の発現

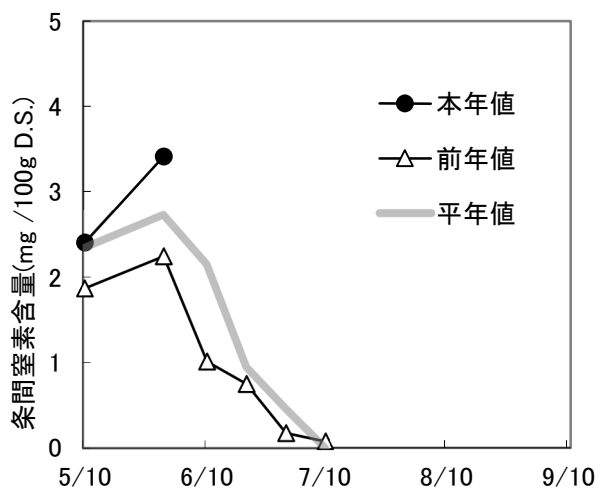
5/11～5/28の期間の日平均地温は平年差+3.1℃で平年より高めに推移しました。この期間の地力窒素発現量は平年よりやや多いです。条間窒素含量は期間を通して平年よりも多く推移しています。



水田地温（5 cm 深）の推移
 （農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査）



地力窒素発現量の推移(5月29日)
 （農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査）
 初期値=0、田植日：5月11日、化学肥料栽培
 基肥窒素成分量：3.5 kg/10a



条間窒素含量の推移(5月29日)
 （農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査）
 田植日：5月11日、化学肥料栽培
 基肥窒素成分量：3.5 kg/10a